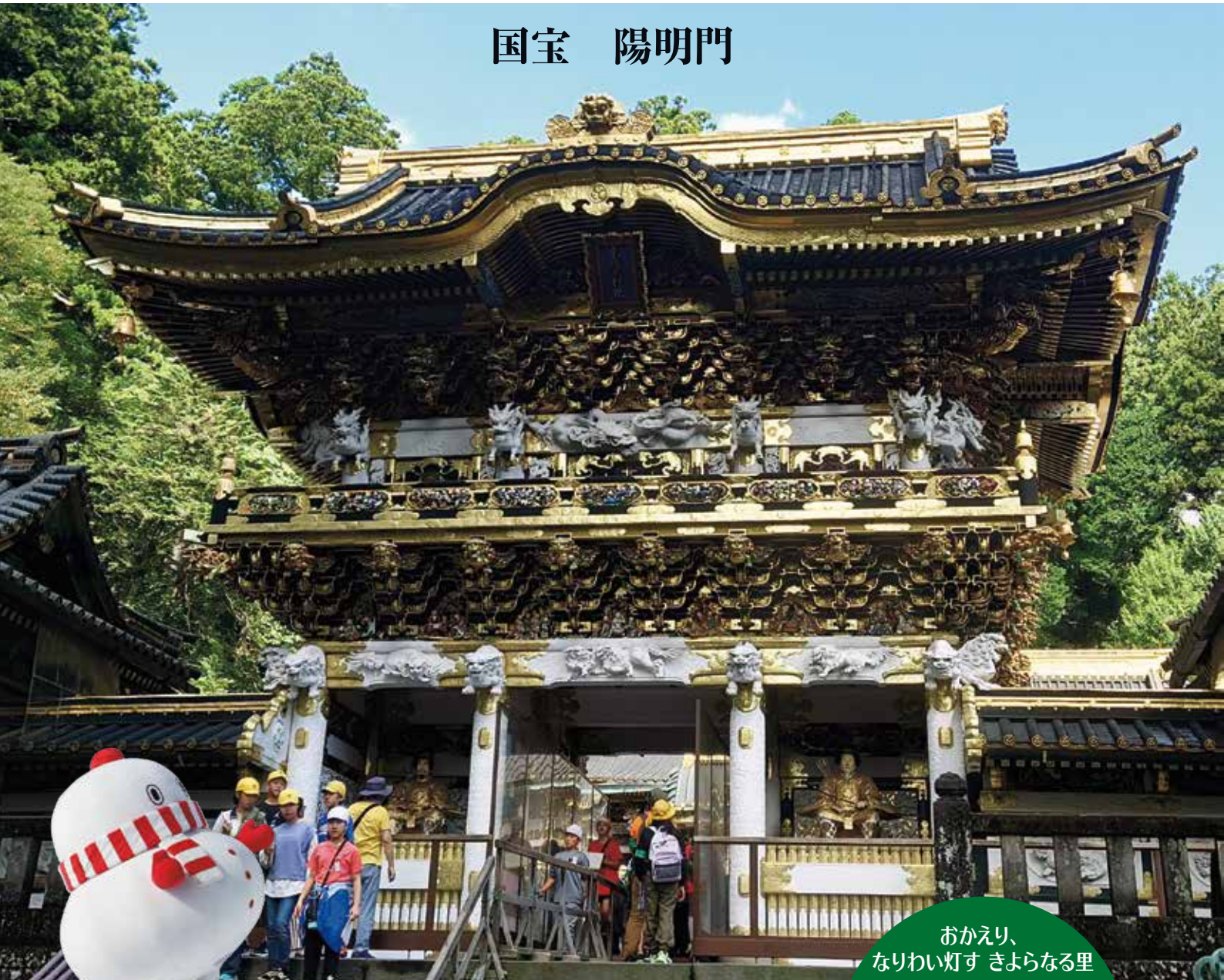


おおくら

議会だより

国宝 陽明門



おかえり、
なりわい灯す きよらなる里

第 **142** 号
2025.新春

もくじ

新年のごあいさつ	2P
提言書	3P
定例会	4~5P
一般質問	6~12P
委員会報告	13P
村民インタビュー !! 村外編	14P

塗師 佐藤則武氏(沼の台出身)
の手による修復

発行／
〒996-0212 山形県最上郡大蔵村大字清水2528番地
大蔵村議会 0233-75-2111
編集／議会広報常任委員会 年4回発行
発行責任者／議長 海藤邦夫
印刷／共栄印刷株式会社

年頭のごあいさつ



昨年は、県内で地球温暖化による異常気象の影響で、酒田・最上地域に線状降水帯が発生し、鮭川・戸沢両村と酒田市大沢地区で甚大な被害に見舞われました。

新年明けましておめでとうございます。村民の皆様には健やかな新年をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。日頃より議会活動に対しまして、御支援と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、大蔵福田山工業団地線の市道では、水害により車に取り残された人命救助に向かった警察官二名が殉職されました。警察官の御冥福をお祈りいたすと共に、被災された方々に心より御見舞い申し上げます。

村内でも地形が急峻な所が多く、大雨の影響で地すべり等の自然災害の発生が多く見られました。今後も異常気象が予想されますので、村民の皆さんには災害に備え、日頃より避難場所の確認が重要だと思っています。

そして、全国的な問題である少子高齢化などによる人口減少、村の基盤産業である農業・観光産業が直面する課題に議会として対処し、住み続けたい大蔵村を造りたいと思います。

役場庁舎建設も地盤の改良、埋め立ても順調に進み、二年後の完成に向け、使い勝手の良い庁舎になるよう要望してまいりますので御協力をお願いいたします。

最後に、村民の皆様が災害の無い明るい一年になりますよう心から御祈念申し上げます。

議長 海藤 邦夫



本年もよろしく
願います。

議長 海藤 邦夫

副議長 加藤 忠己

議員 鈴木 君徳

八 銀 信一

佐 藤 勝

早 坂 民奈

佐 藤 雅之

齊 藤 光雄

須 藤 敏彦

伊 藤 貴之

林道松橋滝ノ沢線

この路線は、四ヶ村地区や肘折地区に於いて、舟形町や村山地域に通じる唯一の路線であり、村道赤松・滝ノ沢線の度重なる通行止めにより、災害時の迂回路として重要な路線である。更に、四ヶ村開発協議会においても、大事な事業に位置付けられている。

しかしながら、長年の要望にも関わらず、全面改修には至っていない。議会においても問題視しており、現場視察を実施し検討した結果、早期に全面改修をすべきとの結論に達し、村に対し提言したものである。

産業建設常任委員長 佐藤 勝



提 言 書

大蔵村長 加藤 正美 殿

大 蔵 村 議 会 議 長 海 藤 邦 夫
産業建設常任委員会 委 員 長 佐 藤 勝
副委員長 齊 藤 光 雄
委 員 加 藤 忠 己
委 員 早 坂 民 奈
委 員 須 藤 敏 彦

◎林道松橋滝ノ沢線道路現況調査に対する提言

令和6年11月26日に林道松橋滝ノ沢線の道路現況調査を行いました。

この道路は舟形町道、更に南山林道と接続する林道です。全延長7,860m、幅員3.6m～4.0m規格の林道です。以前は生活に欠かせない燃料となる薪の生産を行う林道、更に豪雨災害時に四ヶ村から迂回出来る重要道路であります。

また舟形町へも避難できる道路となっています。肘折観光・四ヶ村の棚田観光等に於いて村山地方から肘折温泉・大蔵村に接続する重要路線であります。

長年に渡り地元要望である全線舗装が未だ完成に至っていません。今年度、一部舗装工事を実施していただきました。又連結する舟形町管理道路は全線が舗装され、大蔵村管理の未舗装部分が完成すれば、豪雨災害により住民が大変苦勞している農業用水路へ流入する砂利等の排除処理も容易になると思います。以上の様な状況を鑑み未舗装部分約500mの舗装を早急に行うべきと提言する。



激甚災害で復旧事業に補助金!

12月定例会

12月定例会が5日から6日にかけて開催され、令和6年度補正予算13議案を含め、17議案を審議・可決。審議に先立ち6名が一般質問で村当局の考えをただし、活発な議論が交わされた。

専決処分

- ・令和6年度一般会計補正予算
(衆議院選挙費等)
- ・簡易水道事業会計補正予算
(災害による復旧修繕)

条例の改正

- ・国民健康保険条例の一部改正
(健康保険法等の一部改正に伴うもの)
- ・大蔵村一般職・特別職の給与一部改正
(人事委員会の勧告により給与、期末手当の改正を行うもの)

令和6年度補正予算

- ・令和6年度補正予算11議案を審議・可決
(災害復旧・農業振興事業補助金・障害福祉サービス費・内水対策等)

請負契約

- ・新庁舎造成工事の一部変更、水路擁壁の延長による増工
(第1工区)

質疑応答

問 防犯灯設置について

答 肘折の橋から防災セン
ターまで4基設置。

問 清水地区・内水対策に
ついて

答 清水地区代表と現地視
察、相談の上、大蔵自動
車のところに閉鎖できる
ゲートを設置する。

問 産地生産パワーアップ
事業について

答 合海地区の農家の乾燥
調製施設に対する補助金

問 老朽危険空き家等除去
支援事業費補助金予算を
減額しているが、制度を
住民に知られているの
か?

答 全戸配布で知らせてい
るが、本年度は住民から
要望がない。

問 庄内最上宿泊促進キャ
ンペーン肘折お得プラン
について

答 この度、県が行う庄内
最上の被災した地域の宿
泊施設に対する1泊30
00円の割引支援におい

て、他の地域との差別化
を図り肘折温泉に誘客を
促すため一人1000円

分の独自商品券を発行す
るもの。県の事業は楽天
トラベルでの予約のみ適
用となるが、それ以外に
も適用できる。肘折温泉
街の商店等で利用できる。

問 農業用施設災害復旧
工事、作の巻地区揚水機

今回の災害による復旧で
圃場整備終了後の賦課金
等に影響があるのか?

答 今回の災害復旧費は
賦課金等には影響はない
圃場整備の関係で大蔵土
地改良区の判断により該
当する事もありうる。

問 さらに災害復旧費の金
額が上がる見込みがある
のか?

答 大がかりな事業は来年
の当初予算に計上する予
定。現状復旧だけでなく
再度被災を防ぐ工事でも
きる。

問 国保税の減額の要因
は?

答 国保加入者の所得が前
年度より大きく下がった
こと。

問 子供の数の確保は?

答 特効薬はない。子育て
支援住宅や交通の便の改
良など手は打っている。

問 へき地診療会計の歳入
の大幅な増額見込みは?

答 ワクチン接種を見越し
での増額。

問 居宅介護サービスの増
額について

答 介護認定者が増えたた
め。今後さらに増えるか
もしれない。現状では基
金を取り崩している。体
を動かす取り組みに参加
する人を増やし、認定者
を増やさないような取り
組みを推進する。

問 職員の給料増額につい
て

答 財源である国からの交
付税交付金が増額する見
通し。

12月補正予算の詳細

	補正額	総額	主な補正内容
一般会計	3億1100万円	52億428,1万円	災害復旧、選挙費
国民健康保険	△93,8万円	4億1459,3万円	国保税の減
診療所	1471,7万円	2億3966,1万円	ワクチン材料費
介護保険	2602,8万円	4億589,4万円	居宅介護サービス給付金





佐藤

勝 議員

「中山間地域等直接支払制度」への対応は 村長 既存の組織と連携した地域づくりに期待する

問1 中山間地域の集落や農地の管理に対し、平坦部と厳しい環境にある山間地域との格差是生の為、協定集落に対し補助金の交付や事業への補助を目的とするのがこの制度である。

今年で5期目が終了するが、過去25年間、山間地域に於ける恩恵は計り知れないものがある。6期目に入るにあたり、各集落では今後の取り組みへの是非に対し、多くの問題を抱えなが

ら決断を迫られている。協定に参加する農家の減少や高齢化による労働力不足等で現状を維持するには各自の労働負担が増大する。加えて慣れない事務処理も大きな負担となる。

これらを理由に制度への取り組みを放棄すれば、将来、集落や農地は消滅する事が考えられる。現状のまま事業を維持したいが、問題解決や有効策は見出せない。この現状をどの様に捉

えているのか伺いたい。
答1 7年度以降も事業は維持する見通しであるが、参加する農家の減少や高齢化による労働力不足等で、これまでの様な方法では、継続的に取り組むことは難しいと考える。

解決策で考えられる事として、各集落協定や多様な組織が参画したネットワークの形成や、既存の組織と連携させる事で地域づくりの発展に期待する。また、今後継続して営農可能な農地を選択し、それを管理出来る人数で取り組み、管理面積減少や交付金の減額になっても管理する努力負担を考慮した場合、やむを得ない選択である。

問2 説明会では、現状のままでは交付金が今の8割になると言っているが、こうなった場合、今まで計画的に取り組んできた水路や農業施設の管理、農地の集約や、平場への農地の賃借

等、大幅な見直しが必要になるが、村ではどのように対応するのか？
答2 集落においてこの事業へ取り組む体制作りが大切であり、それを踏まえて村が提案した課題への取り組み方を農家がどう判断するのかが大事な事である。



ここが知りたい

村政を問う

一般質問
12月
定例議会

一般質問とは？

村政全般に対し議員が質問し、意見を述べ村政をただしていくもので、大蔵村では1議員の持ち時間が45分です。

林道松橋・滝ノ沢線道路調査



6議員が一般質問



7P

佐藤 勝 議員

○中山間等直接支払いの対応は

8P

須藤 敏彦 議員

○7月豪雨災害の復旧、復興について

9P

早坂 民奈 議員

○水道管の交換予定の計画は

10P

伊藤 貴之 議員

○部活動の地域移行について

11P

佐藤 雅之 議員

○带状疱疹ワクチン、立替払いのいない助成制度に
○升玉小水力発電再稼働の見通しと備えは

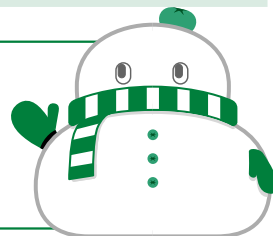
12P

斉藤 光雄 議員

○一般行政職員の行政処分について
○小さな村だからできる企画

7月の豪雨災害で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。今回の定例会では災害関連の復旧復興の補正予算について話し合われました。ここ10年で格段に豪雨災害が増える大蔵村。住民の皆さんの安心安全を守るため、議会も行政もみんなで手を携えて乗り越えていかなければならないと感じています。

(おおくらくんより)





須藤 敏彦 議員

7月豪雨災害の復旧、復興の状況について

村長 災害復旧の対応・早期の復旧をめざす

問1 最上・庄内地域を中

心に、7月25日から降り続いた雨は記録的な大雨になり、本村にも甚大な被害をもたらした。被害の爪痕は、今なお各地に残されている。今回の大雨による被害総額は、災害では過去最悪な状況にある。

銅山川・赤松川流域の河川の氾濫、村道、農道、田園を潤す各用水路などの決壊や崩落。村の主要産業は、農業、観光であり、国も激

甚災害に指定したが、現在の復旧、復興の状況について、明確な考えを伺いたい。

答1 稲沢地区に1戸、中ノ目地区に1戸の被災された住居がある。

稲沢地区は9月5日に床張り替え工事などが終了し、復旧が完了し、中ノ目地区も12月24日の完成に向け、現在も復旧中である。

公共土木施設災害復旧費の工事請負費に15箇所分2億2千650万円を計上

し、年度内発注により、早期の完成に努めることにしている。農地農業用施設で218件、林道施設で29件、特に被害の大きかった林道施設1件、農地農業用施設5件、国の補助を受けながら復旧を進めている。その他の被災箇所は1件当たりの事業費の上限を100万円とした補助率90%の補助事業を実施させていただき、県の単独補助事業を充当しながら対応し、11月20日現在で99件申請があり、約70%ほど終了している状況。

問2 村道藤野柳沢線、発電所付近の仮の復旧工事が終わったようだが、川の法面が4〜5m下がり、急斜面なため、危険な状態である。国道458号の迂回路としても重要路線。安全・安心な通行ができるのか今後の計画を伺いたい。

答2 当該箇所は令和2年も被災し、県で地すべり関連工事としていた。この度

を同一箇所が被災したので、県が被害復旧事業で実施することになる。

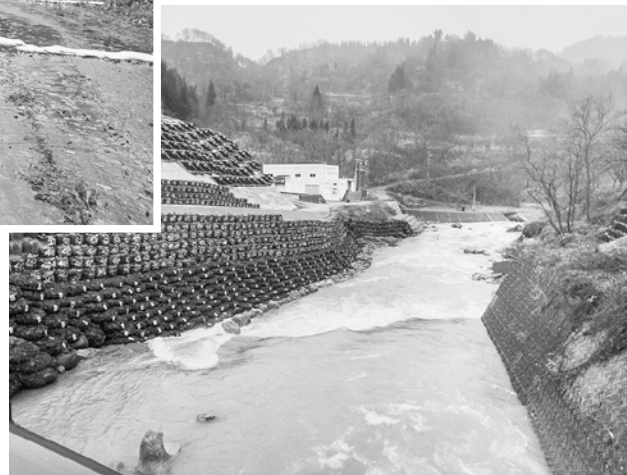
村として早期に完成するよう要望していく。

問3 村道、農道、各水路等の決壊により春の農作業に支障はないのか。

答3 全力で復旧工事に努めていく。



村道赤松滝ノ沢線（平林地区）



村道柳沢発電所付近

重に検討していかなければならない。

問2 策定計画はいつ作り、老朽化の地区はどこか。

答2 来年度に策定し、早

めの実現に向けていく。また、地区は昭和59年の白須賀簡易水道と肘折簡易水道。

問3 今後、村民に料金や水道事業をもっと知ってもらうためにも「水道サポーター」等の活動をしてみてはどうか。

答3 「村長と語る会」を毎年実施しているので、そのような機会を促す村民の意見を聞いていきたい。

ある専門家が「命の水を守り、悪いところも含め、水道の現状について、自治体は伝える努力を重ね住民との合意を作っていく」是非、当村も考えて頂きたい。



早坂 民奈 議員

水道管の交換予定の計画は 村長 早急に老朽化対策を進めていく

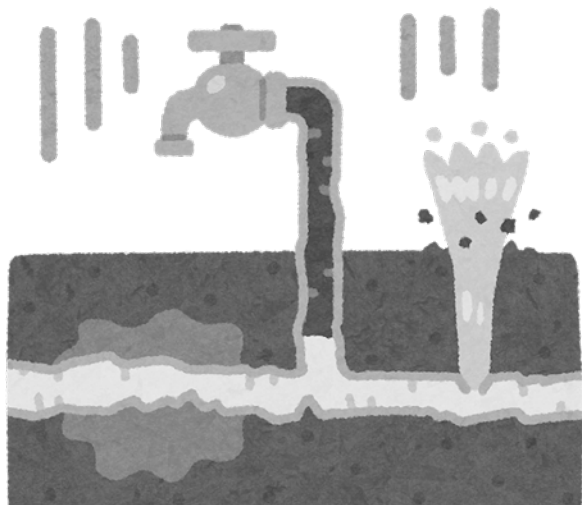
問1 全国的に道路の陥没

や水が溢れたりと立て続けに起こっている。主な原因は水道管の老朽化と言われている。おいしい水が全国各地でも供給を受けているのが当たり前と思って生活しているが、水道管の法定耐用年数にも限りがある。

当村は大丈夫か。水道事業も広域化が話題となっていて昨今、村の水道管を交換するには莫大な予算を計上しなければならぬ。また期間も長いかかと予想さ

れるが、水道料金にも影響があるのでないか。今後いつ、どのように行う計画なのか伺いたい。

答1 水道管の多くは高度経済成長期に敷設され、多くが耐用年数を越えた使用を続けている。村内の水道管の延長は全体で86km、耐用年数40年を経過したものが約15km、更新基準の60年を経過したものは約0.7km、敷設年度が不明なものが約4kmで全体の4分の1が老朽化している。重要な





伊藤 貴之 議員

部活動の地域移行について 教育長 地域と共に活動してほしい

問1 令和8年度以降、土日は部活動を行わず、生徒の希望する地域のクラブに活動の場を移行することという方向性が、国や県によって示された。背景には少子化による生徒数の減少、指導者である先生方の働き方改革などがある。保護者からは今後の土日のクラブ活動の指導者の確保、生徒の送迎、吹奏楽のクラブ活動も含めての希望する団体の有無等に対する心配の声が寄せられている。現時点での村の描いてい

る今後の土日の部活動に対するイメージはどのようなものかを伺いたい。

答1 部活動は教育意義のある重要な活動であるが、学校の義務ではない。村としては令和6年4月に「大蔵村の「休日の部活動」地域移行に係る基本方針」を策定した。土日等の休日の部活動は原則として行わないが、学校管理下のもと行われる中体連主催大会等への学校単位での参加は現在と同様の対応と考えている。基本的には、生徒の自主的

な活動とし、スポーツ少年団などの地域クラブ等に所属して活動してもらうことになる。村の芸術文化協会に所属している団体や、自主的に行っているサークル活動なども、子供たちの受け皿となることは十分に考えられる。そのためには、子供たちの活動の意欲と保護者が一緒に頑張っていく姿勢や思いが無ければ、地域の方々をまきこんだ持続可能な活動にしていくことはできないと考えている。

問2 吹奏楽などスポーツ登録のない団体に関してはどうするのか？また、楽器の搬入搬出が大変だと思われる。

答2 スポーツのような形で補助金の対象となるような活動団体をつくり、登録していただくことを検討している。練習場所は学校の校内以外になるので、楽器は無償で貸し出すが、搬入搬出に関しては保護者に理解



大蔵中吹奏楽部の皆さん

問3 子ども達が地元のサロン等の地域活動に参加するという事でもよいのか？

答3 もちろん。地域移行は郷土愛をばくむチャンスであり、子供たちが自主性を持ち地域の中に入り一緒に活動するというのが目的だという事を保護者の皆様に理解してもらいたい。

問4 周辺自治体との合同を考えていくならば送迎が大変。保護者の仕事等の都合で参加できなくなる生徒への対応が必要と思うが、どのように考えているか？

答4 土日休日の自主的なクラブは、多様化が予想されるので、スクールバスの利用は考えていない。各自で公共交通機関などを使い移動してもらいたい。

問5 各指導者に対し、何らかの助成が必要だと思うがどうお考えか？

答5 現在、基準を満たしているスポーツなどの団体に



佐藤 雅之 議員

带状疱疹ワクチン、立替払いのいない助成を 村長 診療所では、遅くても来年度から実施へ

問1 今年度から50歳以上の住民を対象に「带状疱疹ワクチン」接種に村が助成する事業が始まった。带状疱疹は、50歳を過ぎたところから加齢やストレスで発症する。80歳までに3人に2人が発症するといわれ、皮膚の発疹や炎症が治癒した後でも重い神経痛などの後遺症を引き起こすとされている。より効果が持続するとされる不活化ワクチンは、2回接種が必要で、村診療

所では2回で42,600円と高額になる。2回で合計2万円の助成となるが、本人がいったん立替えたのちに申請して「償還」という流れになる。立て替ではなく、医療機関の窓口で支払い時に助成分を差し引いて本人負担を減らすようにできないか。

答1 予防接種の助成方法については、「定期接種」と「任意接種」で異なっている。希望者が各自で判断

問2 検討とのことだが、この場で明言できないか。

答2 遅くとも村診療所では、来年度から実施するようになりたい。



問 事業年度8期目に入つた升玉小水力発電事業が、水車の軸受け部分の摩耗等の不具合から令和6年8月13日以来運転が停止している。故障の原因が不純物の混じった自然流水による当該部分の洗浄にあったことに加え、「経年劣化」との説明もあった。この事業は、稼働開始時期が令和3年度にずれこんだ経緯もあり実際の稼働実績は3年強。運用期間を20年と見立てている発電装置としては当初の想定より「損耗」が相当激しいものと危惧する。事業の不確実性にどのように備えるのか。

答 発電機軸受けの温度が上昇し発電機が停止した。調査した結果、水車軸受け部分の損傷を確認。全軸受けの取替等、復旧工事を発注している。交換部品については一部部品が「海外調達」となっており、3カ月の工期が必要で、12月中旬には運転再開の見込み。当初「経年劣化」の可能性も指摘したが、原因は、7月25日の豪雨による銅山川の濁水で、砂礫を含む濁水が大量流入したためと推測。事業の不確実性には、特別目的会社による運営、日本工営との信頼関係による最善の対処、損害保険契約の締結等によって備えている。

升玉小水力発電再稼働の見通しと備えは 村長 12月中旬には、運転再開の見込み

委員会報告書

総務文教常任委員会所管事務調査報告

総務文教委員会委員長 佐藤 雅之

9月19日、村内介護事業の実情を調査する目的で、社会福祉法人大蔵福祉会を訪問した。同法人からは課題として、①人材の確保と育成について②施設の老朽化とその対応について③物価高騰対策についての大きく3点があげられた。人材の確保や定着、物価高騰はあらゆる産業で共通の課題となっているが、「公的保険制度の枠組み」の中での対応は他業種に比べてもいっそう困難な課題である。コロナウイルス感染症を契機に危機管理体制の強化や、頻繁な制度改正、それに伴う業務の複雑化が進んでいる反面、人材不足が顕著となっている。「働き方改革」が職場環境の改善につながるか注視する必要がある。「地域の安心の砦」を維持するためには、介護関係者とのより活発な意見交換と緊密な連携が必要だと感じた。同日続けて村地域包括支援センターを視察。高齢者の介護予防の取り組みを中心に聴取した。「ふれあいサロン」への支援や「冬季ピンピンピック」開催など、健康寿命を延ばす観点からの取り組みを聞いた。理学療法士、言語聴覚士、作業療法士など専門職が相互に連携し重層的な支援を行っていることが、より効果を上げる要素となっている。議会も各種企画に積極的に参加し健康寿命を延ばす機運の醸成に力を注ぐべきとの思いを強くした。



議員研修

広報委員 伊藤 貴之

10月25日に山形国際交流プラザで開催された令和6年度山形県町村議会議員研修会に、議員10名が参加しました。

今回の講師の方々は、太田雅幸先生、長内紳悟先生のお二方です。太田先生は、議会のあるべき姿について講演してくださいました。そのお話の中に、「議員が議会の品位と名誉を損なう恐れのある行為を慎む」という内容がありました。地方議員の主な仕事は、予算の審議、首長や執行部の監視、議会で意見を述べたりすることなどが挙げられます。二代表制のもと、直接住民に選ばれ、大切な仕事をこなすからには、住民の代表としての責任をしっかりと果たさなくてはならないと改めて実感いたしました。一方で、議員の賄賂、秘密の暴露、ハラスメントなども話題に挙げられました。私たち大蔵村村議会議員も、住民の代表としての自覚を持ちながらも、驕らず、大蔵村の更なる発展のために謙虚な姿勢を持ち続けていきたいです。

また、長内先生は、様々な経験を経て現在は政策アドバイザーとして活躍されている方で、様々な視点から見る政治の仕方についての考えを、ユーモアも入れつつお話してくださいました。例えば、議会の意見を活発にするために、服装を自由にする、困り事を正すだけでなく、人々の幸福をつくる、目的やゴールをはっきりと決め、データや事実を踏まえて達成のための手段を考えるなど、町村をより活性化させるための方法はたくさんあるのだと強く感じる講演でした。政策は目的の設定が必須であり、そこに意味を込め、データに基づいて丁寧に計画を立て、意見に説得力を持たせることが議会や執行部をより充実した組織にするための課題なのだと感じました。

今回の研修会で学んだことを参考に、これから議員として大蔵村のために更に努めて参ります。



一般行政職員の懲戒処分について 村長 社会的状況や法改正を 注視し、検討



齊藤 光雄 議員

問 昨今、一般行政職員の危険運転致死傷罪の厳罰化議論が成されるようである。村として、度重なる事案の厳罰化に向けて、懲戒処分基準等の規程を早急に検討し、根絶に向けて新たな規程を示すべきでは。

答 国では「自動車運転による死傷事件に係る罰則に関する検討会」を専門家から意見を頂き開催し、議論の段階である。法律が改正され、対応すべき内容であれば条例や規程の改正につ



いて、社会的状況や法改正を注視しながら、しっかりと対応する。

問 議会広報常任委員会の4名で栃木県日光市、大蔵村第1号村民栄誉賞受賞佐藤則武氏を訪問し文化財の日光東照宮の漆塗技術について見学、説明いただき学んで来ました。仕事のきっかけは100年後の世界に残る仕事をしたい。確りとした文化財各所の漆塗技術の説明を受け、将来ある村の子供たちに江戸幕府が繋いだ漆塗技術を佐藤さんがご健在の内に是非機会を設け、小さな村だから出来る学びの環境を生かし、将来大蔵村を背負う子供達に佐藤さんが歩んで来た功績の説明を受けさせ、学習の機会を設けるべきでは。

答 今後、学校と十分に協議しながら、中学生のキャ

小さな村だからできる企画 学校と十分に協議しながら検討

リア教育の一環として検討し、この事は子どもたちに夢や希望を与え、将来の職業選択などを考えるときの一助になるとともに、子供もたちにとって大変な励みになると思われる。



村民インタビュー!! 村外編



江戸幕府が繋いだ漆塗技術 100年後の世界に残る仕事をしたい

広報常任委員の4名で栃木県日光市、大蔵村村民栄誉賞受賞佐藤則武氏を訪問し文化財の日光東照宮の漆塗技術について見学、説明いただき学んで来ました。

佐藤則武さんがこの道に進むきっかけ

佐藤さんの実家は以前に酪農、炭焼きを営んでおりました。当時は家計も苦しそうなので、高等学校への進学を諦め絵が得意であり職業訓練校への道を選択致しました。職業訓練校修了後就職ため日光市を訪れ目的の会社に向かう途中、東照宮の守衛の方との出会いからこの道に進むきっかけとなりました。

国宝東照宮の漆塗り技術の説明

- * 佐藤さんに一番見せたい漆塗りと聞くと陽明門は必ず見るべき
- * 昭和25年の文化財保護法制定後に、漆塗りの修復が始まる
- * 原材料の漆、以前は山形産が多く使用されていた
- * 海外産の漆を以前使用していましたが、質の問題により国内産を使用
- * 国内産の漆は塗りにくいが、劣化速度が遅く長持ちする
- * 2007年から東照宮で使用する原材料の漆を国内での植栽を依頼
- * 国内産は塗りが難しく、佐藤さんが指導を行う
- * 日光の文化財保護は50%が補助、残りは参拝料で維持している
- * 国宝の陽明門修復作業は国内産にこだわり、岩手県二戸産600kgを使用
- * 漆の色は顔料を溶かし、漆を化学反応させて色を出す
- * 金色は漆を塗り乾かめうちに金箔を貼る。黒漆には金が映える
- * 様々な高度な技術が施された文化財も専門の塗師後継者不足が問題となっている



前列まん中が佐藤さん

定年後の佐藤則武さん現在

- * 生まれ故郷の四ヶ村に毎年帰省し、帰る場所があり、故郷を守っていただいている方々に感謝している
- * 現場に赴くのは週1回で、東照宮のみならず、全国の国宝（首里城）等にも携わっている
- * 毎日のランニングで健康に留意しており、とても若々しく見えました
- * ご子息が文化財の塗師を継承し職業としている

広報委員の感想

家庭環境や地域特性の中、幼き頃から絵が上手で、本来勤務する会社に趣く途中で東照宮の守衛さんとの出会いから始まり、導かれるまま文化財塗師の道に進み、最高峰の選定保存技術保持者の栄誉を習得されました。

私達も何度かこの地を訪れ、物見遊山であった事に気づかされました。

東照宮での説明は直接携わる塗師で無ければ分からず細部にまで説明を受け、是非、村民の方々並びに将来大蔵村を背負う子度達に佐藤さんが歩んで来た功績を見学及び説明の機会を設ける事が、私達の責務と感じる機会でありました。

編集 広報常任委員会副委員長 斉藤光雄

編集後記

今回の広報に、佐藤則武さんの功績を紹介する機会があり、気づかされた事があります。
大蔵村、四ヶ村出身の方で偉業・起業している方々がおります。

滝ノ沢出身で村の財政にも寄与され、門脇基金を創設された創業者の門脇さん、海外・ブラジルに移住された長南ソースを開発した豊牧出身の長南さんなどがおります。

今後、東京で開催される広報研修の際は、村出身の関東で暮らす方々の企業や東京大蔵会の関係者等の訪問など考えております。（斉藤 光雄）



議会広報常任委員会

委員長 早坂民奈
副委員長 斉藤光雄
委員 須藤敏彦
委員 伊藤貴之